

草の根通信

号外

みやぎ大会特集



「すずめ踊り」のワークショップ

第19回日米草の根交流サミット・みやぎ大会は、2009年7月28日から8月2日まで、宮城県内各地で開催されました。直前に新型インフルエンザの発生や、未曾有の世界同時不況などの影響を受け、参加者は100名と例年より少なかったものの、「その分実行委員会の配慮も行き届き、質の高いプログラムだった」「期待を超えた素晴らしい内容だった。宮城の皆さんに心から感謝している」との感想が寄せられています。

大会参加者数： 米国からの参加者：約100名
 財団関係者：約20名（役員、協賛企業、職員）
 同窓会参加者：約50名（過去大会参加日本人の親睦会）

イベント別参加者： 1) オープニング・セレモニー参加者：450名
 2) クロージング・セレモニー参加者：330名
 3) 大会参加者総数：1850名

大会スケジュール（旅行日程）

7/27（月）	参加者・米国出発
7/28（火）	参加者・成田到着。バスにて松島へ <松島・大観荘泊>
7/29（水）	松島にてローカルツアー、オープニング・セレモニーと歓迎イベント <松島・大観荘泊>
7/30（木）	早朝・塩竈魚市場見学後、地域分科会へ出発 <ホームステイ>
7/31（金） ~8/1（土）	地域分科会プログラム <ホームステイ>
8/2（日）	地域から仙台ロイヤルパークホテルへ移動 クロージング・セレモニー開催 <仙台ロイヤルパークホテル泊>
8/3（月）	成田経由で米国へ帰国、またはオプション・プログラム参加

松島ローカルツアー（7月29日）

前日遅く松島のホテル大観荘に到着した参加者は、疲れも見せず午前中から午後にかけて松島でのローカル・ツアーを楽しみました。



【これから松島クルーズへ！】

オープニングイベント (7月29日)

夕方4時から、いよいよオープニング・イベント開始。記念式典に続き、記念講演会「中濱家とホイットフィールド家、168年の交流秘話」(モデレーター:高島肇久 CIE 評議員・元 NHK 解説委員長)で、草の根サミット大会の原点、両家の交流を学びました。みやぎ大会に参加したペリー提督のご子孫からの挨拶、聖路加国際病院理事長の日野原重明氏によるビデオメッセージも式典に花を添えました。



大会名誉会長・村井嘉浩知事



ロナルド・ポスト
米国大使館 臨時首席公使



渡邊泰造 CIE 理事長



日野原重明氏からのビデオメッセージ



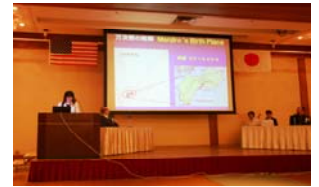
両家による地球儀交換



ペリー提督の子孫、マシュー・ペリー氏



高島肇久氏



記念講演の様子

その後は、楽しいウェルカムパーティー。宮城の伝統芸能「八ツ鹿踊り」で始まり、鏡割り、リリース・コールのコーラスなどを楽しみながら、美味しい食事で懇談の時間を過ごしました。



亀井昭伍
大会実行委員長



鏡割り



キーパーソンの紹介



リリース・コールのみなさん



早川流清水目 八ツ鹿踊り

クロージング・イベント (8月2日)

地域分科会を終え、参加者はホストファミリーとともにクロージング・イベントの会場となる仙台ロイヤルパークホテルに集合。午後3時から、大会を締めくくるクロージング・イベント第一部・記念式典が開催されました。



仙台市長による挨拶



リチャード・ウッド
CIE-US 理事長



宮城大学教授 宮原育子氏による「地域プログラム振り返り」

第二部のレセプションでは、大会副実行委員長の佐藤久一郎氏による挨拶に続き、キーパーソン麻生菜穂美さんの音頭で乾杯。その後は、亜 KIRA さんによる歌、サミット当初から関わっているタエコ・フロイド氏による参加者紹介などで盛り上がりました。レセプションのトリは、サンフランシスコ・ヒップホップダンスチーム「FBC ストーム」によるパフォーマンスと、2010年のサンフランシスコ・ベイエリア大会事務局長の井上ローナ恵さんによる挨拶。「来年はサンフランシスコで会いましょう」と声がかかりました！



誕生日を迎えた参加者を皆でお祝い



亜 KIRA さん



ヒップホップチーム「FBCストーム」



井上ローナ恵さん

地域分科会—ホームステイ・プログラム 7月30日(木)～8月2日(日)

7月30日からは、宮城県内15ヶ所の地域で、3泊4日の地域分科会（ホームステイ・プログラム）が開催されました。参加者は、地域の方々の温かさに触れ、忘れられない思い出をたくさん作ることができました。

() カッコ内は参加者人数



1. 気仙沼 (6)



2. 登米 (4)



3. 栗原 (5)



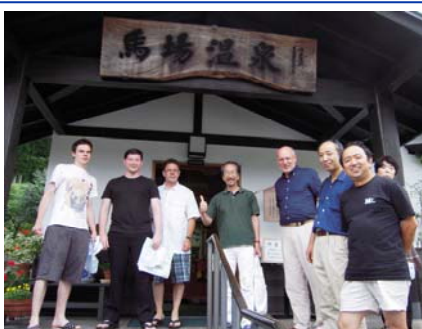
4. 南三陸 (5)



5. 大崎・鳴子 (5)



6. 大崎・古川 (4)



7. 大崎・松山 (4)



8. 石巻 (11)



9. 松島・塩竈 (5)



10. 仙台 (7)



11. 岩沼 (4)



12. 蔵王 (8)



13. 角田 (6)



14. 白石 (5)



15. 名取 (4)

早朝オプション (7月30日・8月3日)

7月30日 早朝5時出発にもかかわらず、「塩竈魚市場見学」には65名が参加。佐藤昭・塩竈市長の歓迎を受け、迫力のマグロ解体ショーと新鮮なお刺身の味見をたっぷり堪能しました。



8月3日 宮城最後の一日は、千葉紀子先生による「ラジオ体操」の早朝講座から始まりました。日本人なら誰でも知っている、長寿の秘訣・ラジオ体操に関する講演の後は実際に音楽にあわせて体験。



オプション・プログラム (8月3日～)

大会後、一部参加者は成田空港へ直行し米国へ帰国しましたが、多くの参加者はオプション・プログラムに出発。各地で、さらに交流を深めました。



東京フリータイム



京都ホームステイ



能登ホームステイ



東北三大祭り



三重県の親戚訪問



参加者からのコメント (ケリー・モリカワ)

宮城は、多くの意味で、美しく、また魅力的なところでした。実は、私たちは「栗原」を希望していた訳ではなかったのですが、今では栗原のプログラムに参加できたことを心から喜んでいます。ホストファミリーは、ダンスや園芸など、私たちと多くの同じ趣味を持ち合わせていて、ぴったりとマッチしていましたが、他にもたくさんの方々と住所やe-mailのアドレスを交換し、良い友人を作ることができました。私たちは、また必ずや日本を訪問したいと思っています。なぜなら、日本にたくさんの友人ができたのですから！
日本のお友達にも、いつの日かアメリカに来ていただきたいと思います。



参加者からのコメント (ジョン・ホワイト)

サミットはとても良く準備されていました。ホームステイした蔵王町のボランティアの方々もすばらしく、まるで町の方々全員で迎えてくださったかのようでした。昼も夜も、行事をご計画くださり、たくさんの方々と知り合いました。将来もこうした方々と交流をしていけたらと思います。ホストファミリーと蔵王町の方々に心から感謝申し上げます。私は、うっかり松島のホテルに電動歯ブラシを忘れてきたのですが、それが仙台のホテルに届けられていたときには、驚きとともに、これが宮城の方々のお心配りをよく表していると感じました。本当にありがとうございました！



みやぎ大会実行委員会の皆さん



財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念
国際草の根交流センター

John Manjiro Whitfield Commemorative
Center for International Exchange

〒102-0083
東京都千代田区麹町 2-12-18 グランアクス麹町 602
TEL 03-3511-7171 FAX 03-3511-7175
URL: <http://www.manjiro.or.jp>